

庁舎に関する市民アンケート  
結果報告書

平成 2 2 年 9 月

府 中 市



## 1. 調査の概要

### ①調査の背景と目的

本市本庁舎は、西庁舎部分は昭和34年に、東庁舎部分は昭和45年に建設され、多摩地域では最も古い庁舎です。

市庁舎は、平常時は市民生活を支え、万一の災害発生時は応急対策や災害復興の拠点となる重要な施設であることから、市では、現在の市庁舎の老朽化などのさまざまな課題に対して検討を進めていきたいと考え、市民の方々の市庁舎の利用実態及び市民の望む市庁舎の姿を検討するための基礎資料として、本アンケート調査を行いました。

### ②調査対象

府中市役所に来庁された方々に対し、20歳以上の府中市民であることの確認を行い、アンケート調査をお願いしました。

### ③調査方法

対面調査方式でアンケート用紙に記入を行ってもらいました。

### ④調査期間

平成22年9月6日（月）午前9時30分～午後5時

平成22年9月7日（火）午前9時30分～午後5時

平成22年9月8日（水）午前9時30分～午後5時

### ⑤アンケート調査実施場所

東庁舎、西庁舎、北庁舎の1階部分において調査員が来庁者に対しアンケートの趣旨を説明して行いました。

### ⑥アンケート標本数

502票

### ⑦調査項目

質問1 市役所への来訪目的

質問2 市役所への来訪頻度

質問3 市役所への利用交通手段

質問4 現在の市庁舎の課題について（12項目）

質問5 理想に思う市庁舎像

質問6 市庁舎を建設する場合の建設場所で重要視すること

質問7 回答者の属性（性別、年齢、居住地域、職業、居住年数）

質問8 自由意見等

⑧クロス集計

質問1～6の各回答と質問7の回答者の属性をクロス集計し、特徴的な回答率の傾向が表れているものについては、解析を行っています。

## 2. 集計解析結果

質問1：どのような目的で市役所を訪れましたか。（3つまで選択）

### 【全体集計結果の解析】

全体の5割を超える人（54.4%）が「戸籍、住民票、印鑑証明に関すること」を目的として市庁舎を訪れています。

次に多い回答は「国民健康保険、国民年金に関すること」（15.9%）、「税金に関すること」（12.2%）、「健康、福祉に関すること」（10.4%）の順であり、3つまで選択してもらった回答の多くは、生活に密着した窓口業務に関することが来訪目的の大部分を占めています。

選 択 肢	回答数	構成比
戸籍、住民票、印鑑証明に関すること	273	54.4%
国民健康保険、国民年金に関すること	80	15.9%
税金に関すること	61	12.2%
健康、福祉に関すること	52	10.4%
環境に関すること	10	2.0%
建築確認、道路、水道、下水道に関すること	4	0.8%
市営住宅に関すること	6	1.2%
商工、観光、農業に関すること	2	0.4%
学校教育、社会教育に関すること	8	1.6%
自治会や地域のこと	6	1.2%
議会の傍聴	8	1.6%
仕事上での手続き、調査など	22	4.4%
その他	85	16.9%
無回答	2	0.4%
合 計	619	123.3%

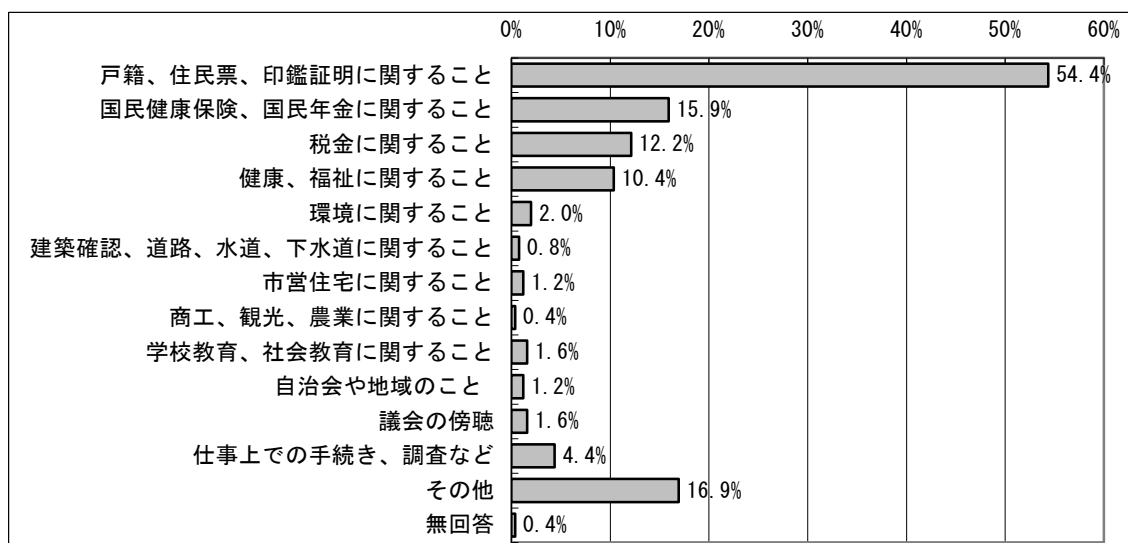


図 市役所を訪れた目的（複数回答）

### 【参考】

本アンケートでは、来庁者の訪問先についてもわかる範囲で記入を行ってもらった。

来庁の目的先とする部課名が明確ではない方も多いため、参考として記入のあった結果を示すにとどめる。

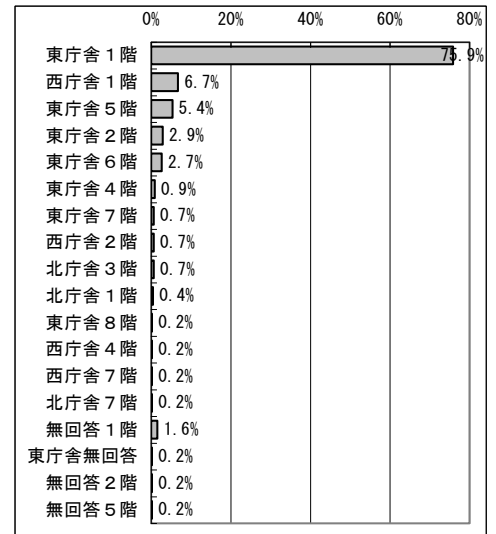
来庁市民の訪れた庁舎階、部局、課では、東庁舎1階の市民生活部総合窓口課が圧倒的に多くなっている。

これは、本アンケートの調査が庁舎1階部分のロビーや待合席で行われたことや、目的とする訪問先を市民も明確に把握していないこと、複数の部課を回る中でわかる範囲で記入してもらったことなどが影響している。

但し、前ページの回答結果にあるように、アンケートに回答していただいた市民の方々の来庁目的の約半数強が「戸籍、住民票、印鑑証明に関すること」を目的の一つの回答していることから、東庁舎1階の「市民生活部総合窓口課」の利用が最も多いといえる。

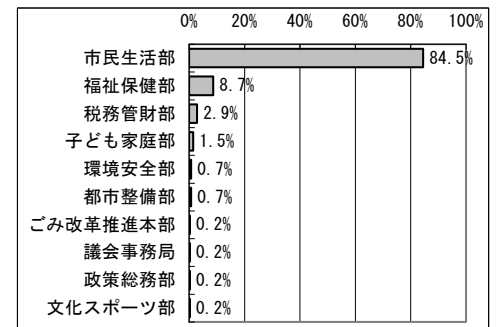
### ■訪れた庁舎階について

選 択 肢	回答数	構成比
東庁舎1階	340	75.9%
西庁舎1階	30	6.7%
東庁舎5階	24	5.4%
東庁舎2階	13	2.9%
東庁舎6階	12	2.7%
東庁舎4階	4	0.9%
東庁舎7階	3	0.7%
西庁舎2階	3	0.7%
北庁舎3階	3	0.7%
北庁舎1階	2	0.4%
東庁舎8階	1	0.2%
西庁舎4階	1	0.2%
西庁舎7階	1	0.2%
北庁舎7階	1	0.2%
無回答1階	7	1.6%
東庁舎無回答	1	0.2%
無回答2階	1	0.2%
無回答5階	1	0.2%
合 計	448	100.0%



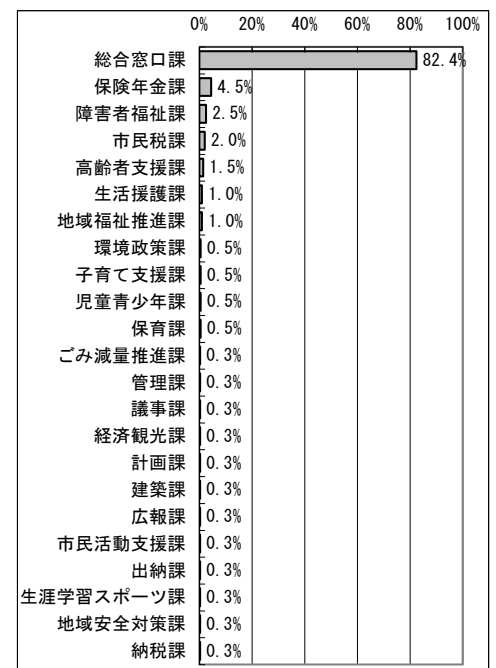
### ■訪れた部局について

選 択 肢	回答数	構成比
市民生活部	348	84.5%
福祉保健部	36	8.7%
税務管財部	12	2.9%
子ども家庭部	6	1.5%
環境安全部	3	0.7%
都市整備部	3	0.7%
ごみ改革推進本部	1	0.2%
議会事務局	1	0.2%
政策総務部	1	0.2%
文化スポーツ部	1	0.2%
合 計	412	100.0%



### ■訪れた課について

選 択 肢	回答数	構成比
総合窓口課	328	82.4%
保険年金課	18	4.5%
障害者福祉課	10	2.5%
市民税課	8	2.0%
高齢者支援課	6	1.5%
生活援護課	4	1.0%
地域福祉推進課	4	1.0%
環境政策課	2	0.5%
子育て支援課	2	0.5%
児童青少年課	2	0.5%
保育課	2	0.5%
ごみ減量推進課	1	0.3%
管理課	1	0.3%
議事課	1	0.3%
経済観光課	1	0.3%
計画課	1	0.3%
建築課	1	0.3%
広報課	1	0.3%
市民活動支援課	1	0.3%
出納課	1	0.3%
生涯学習スポーツ課	1	0.3%
地域安全対策課	1	0.3%
納税課	1	0.3%
合 計	398	100.0%



【クロス集計結果の解析】

- 市庁舎を訪れる目的を年齢別に見ると、「戸籍、住民票、印鑑証明に関すること」を目的とする割合は、年齢層が高くなるほど少なくなる傾向が表れています。これは、社会生活において年齢層が若いほど各種手続を行うために各種証明書の取得が必要となる事項が多いことが背景にあるのではないかと考察されます。
- 20才代は他の年齢層に比べて「国民健康保険、国民年金に関すること」の割合が多く、転居や就学・職に伴う国民健康保険の手続などが多いのではないかと考察されます。
- 40才代は他の年齢層に比べて「税金に関すること」の割合が多いことが特徴として表れています。
- また、「健康、福祉に関すること」は、60才代の割合がやや少なくなっていますが、全体の傾向としては年齢層が高くなるに連れて来訪目的の割合が多くなる傾向にあり、70才以上の割合が最も多くなっています。

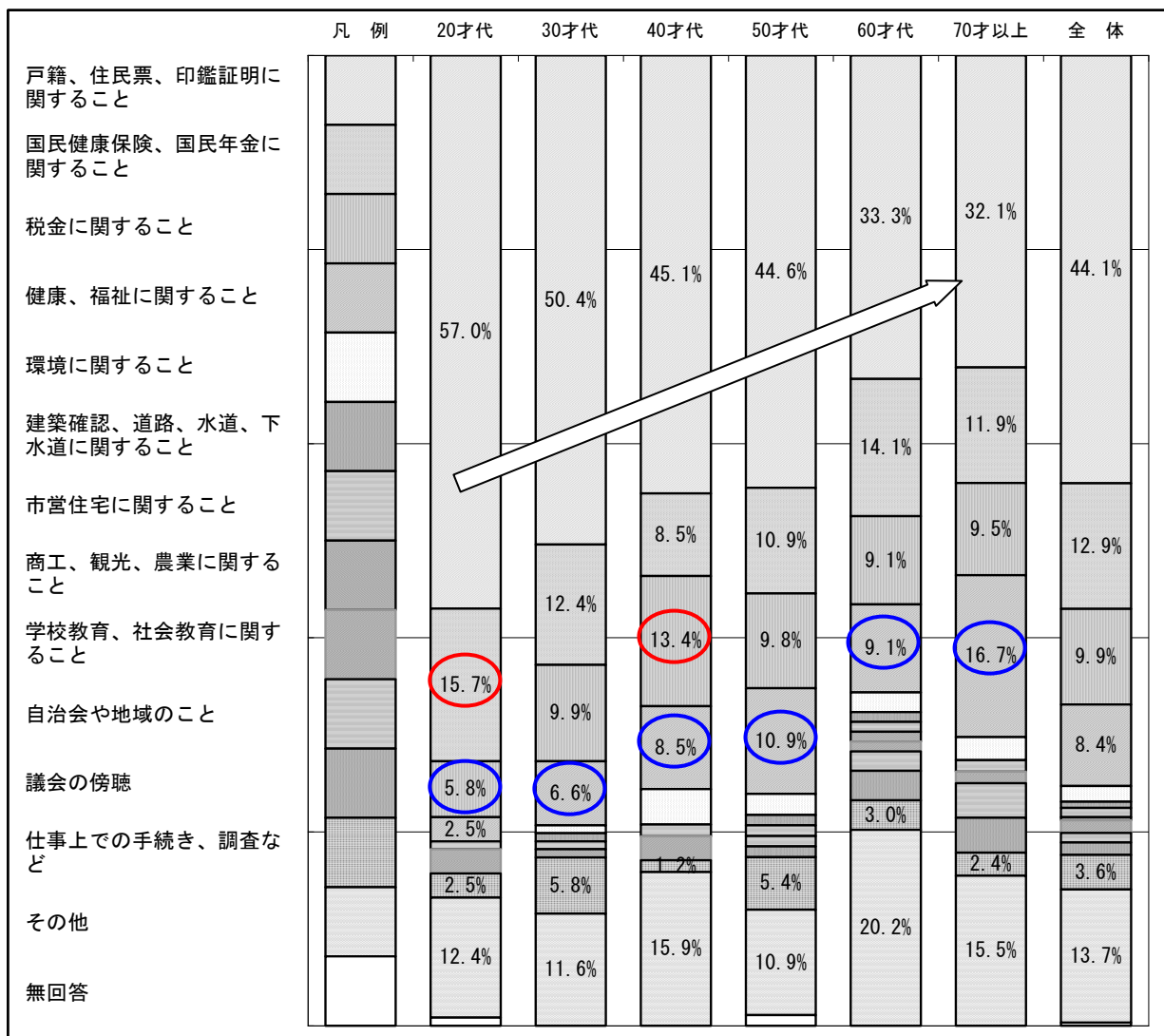


図 市役所を訪れた目的（複数回答）×年齢別

質問2：あなたはこの1年間、どのくらいの頻度で市役所を訪れましたか。  
(1つ選択)

【全体集計結果の解析】

回答者の96.4%が1回以上は市役所を訪れており、1回も訪れていない人は3.2%と少数です。

来訪頻度では「2～3回」が42.6%で最も多く、次いで「4～6回」(22.5%)、「1回」(15.3%)の順です。

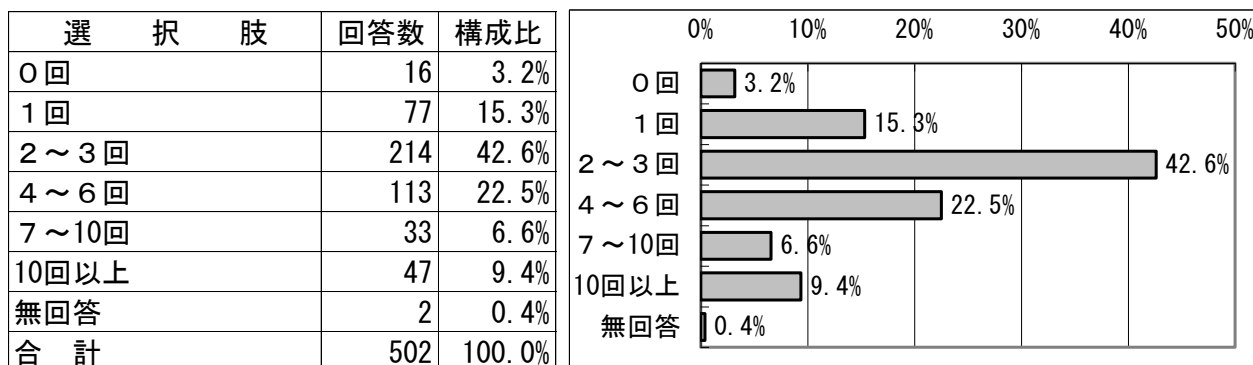


図 1年間に市役所を訪れた回数

【クロス集計結果の解析】

- この1年間に市庁舎を訪れた回数を年齢別に見ると、他の年齢層に比べ50才代と70才以上の方々の「10回以上」という割合が多くなっています。
- 質問1の市庁舎を訪れた目的では、50才代と70才以上の方々は他の年齢層に比べ、「健康、福祉に関すること」を目的とする割合が多く、健康、福祉に関する各種相談・手続等で継続的に訪れている方々が多いのではないかと考察されます。

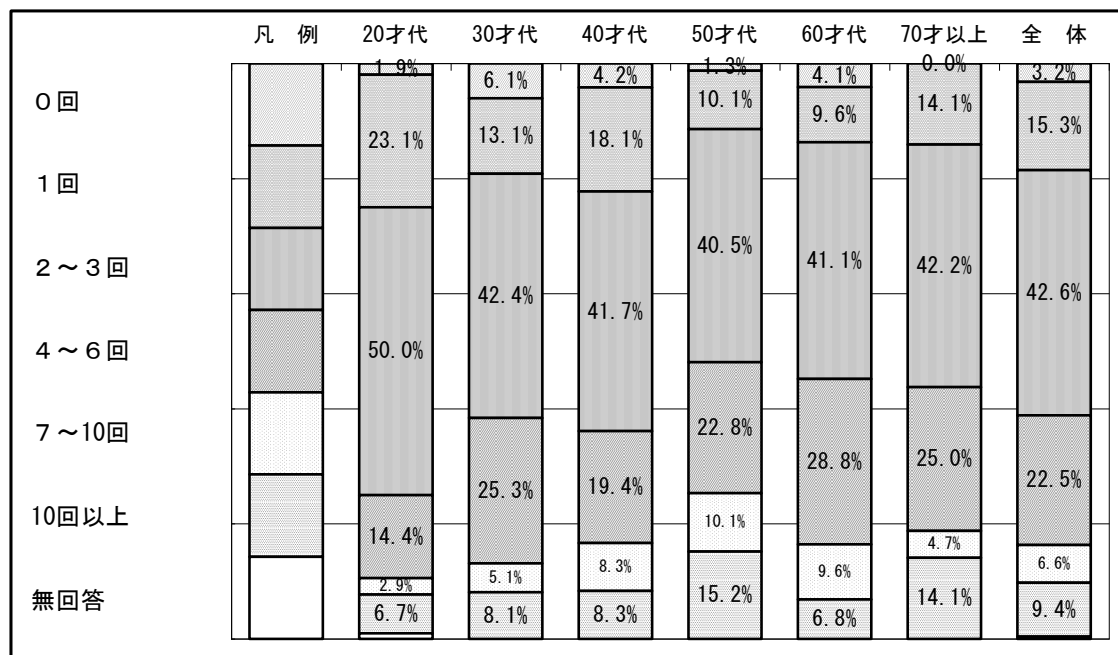


図 1年間に市役所を訪れた回数×年齢別



質問3：あなたはどのような手段で市役所を訪れましたか。（1つ選択）

【全体集計結果の解析】

市役所への交通手段では、「自転車」の利用が33.9%で最も多く、次いで「自動車」の28.9%、「徒歩」の18.7%となっています。

一方、鉄道やバス等の公共交通を利用する人の割合は合計で約20.2%となっています。

選 択 肢	回答数	構成比
徒歩	94	18.7%
自転車	170	33.9%
バイク	24	4.8%
自動車	145	28.9%
電車（京王線利用）	55	11.0%
電車（JR線利用）	9	1.8%
バス	37	7.4%
タクシー	1	0.2%
その他	1	0.2%
無回答	1	0.2%
合 計	537	107.0%

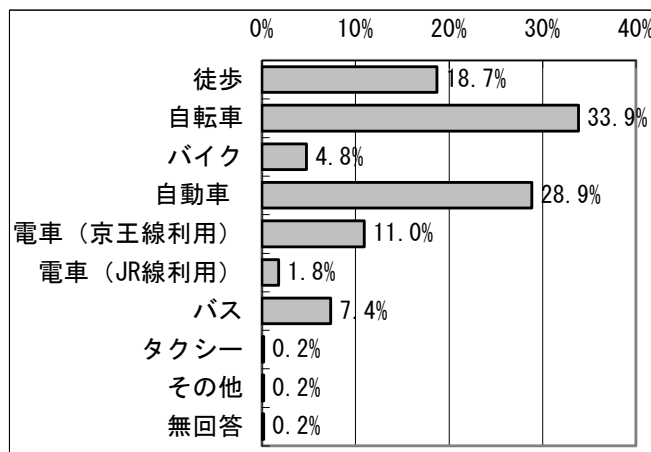


図 市役所への交通手段

【クロス集計結果の解析】

○ 市役所への交通手段を性別に見ると、「女性」の方は「自転車」の利用が多く、「男性」の方は「バイク」と「自動車」の利用が多くなっています。

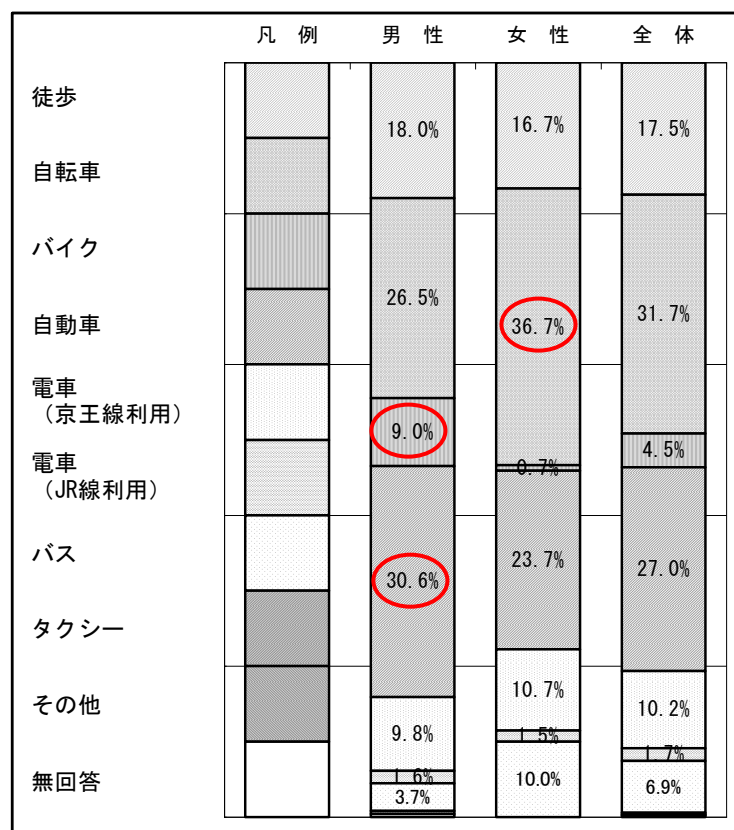


図 市役所への交通手段×性別

- 年齢別に見ると、他の年齢層に比べ「徒歩」の割合が多いのは「20才代」、「30才代」と「70才以上」の方です。この背景として「20才代」、「30才代」の方は、駅近くの賃貸住宅にお住まいの方が多くのではないかと考察されます。
- 一方、30才代～50才代の方々は「自転車」の利用が多いことが特徴として表れています。
- また、20才代～60才代までの傾向としては、年齢層が高くなるに連れ「電車」の割合が少なくなり「自動車」の割合が多くなる傾向が表れています。
- さらに「70才以上」になると「自動車」の利用が少なくなり、「電車（京王線）」、「バス」の利用が多くなっています。これは自動車を運転しない（運転できない）高齢者の方がある程度いらっしゃる事が理由と考えられます。

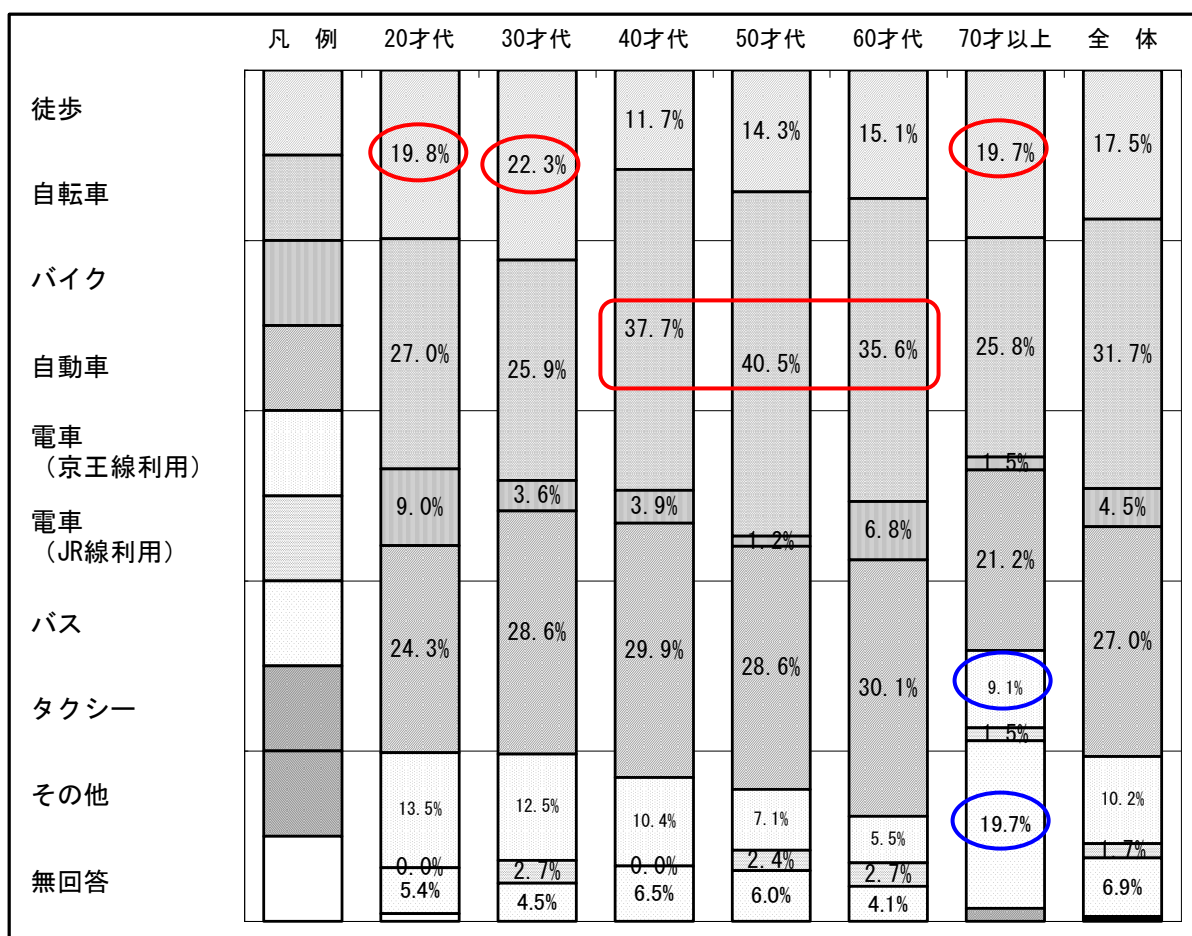


図 市役所への交通手段×年齢別

質問4：あなたは、現在の市庁舎にどのような課題があると思いますか。ア～シの項目ごとに、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つ選んで、数字を○で囲んでください。

ア～シの各項目の回答に対して、「そう思う：2点」、「どちらかというと思う：1点」、「どちらかというと思わない：-1点」、「そう思わない：-2点」のポイントを付け、それぞれの項目の平均値を算定したものが下の図です。

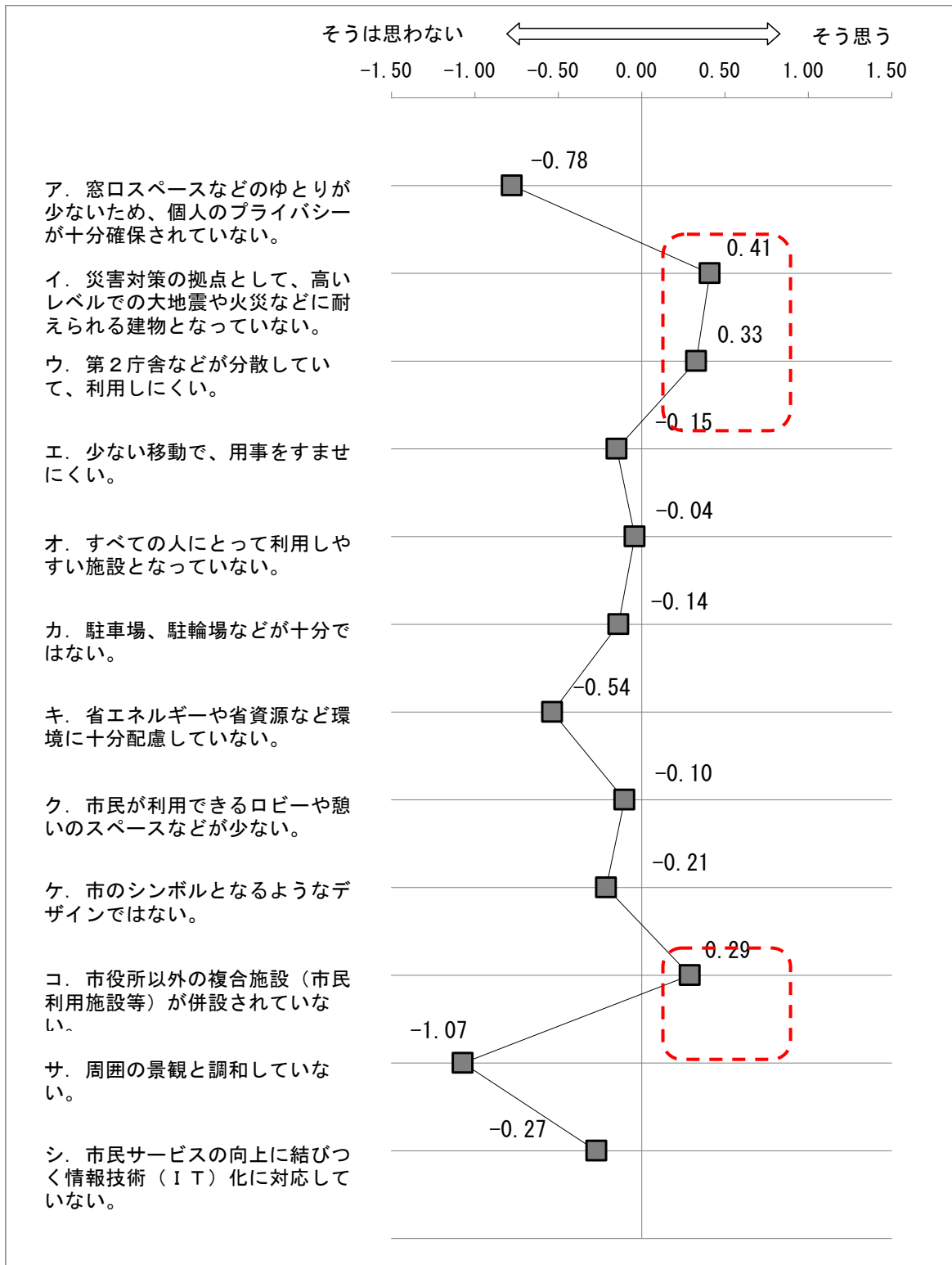


図 現在の市庁舎の課題

## 【全体集計結果の解析】

- 「現在の市庁舎にどのような課題があると思いますか」の回答を平均値の分布で見ると、「イ. 災害対策の拠点として、高いレベルでの大地震や火災などに耐えられる建物となっていない」が 0.41 ポイントで最も高く、次いで「ウ. 第2庁舎などが分散していて、利用しにくい」が 0.33 ポイント、「コ. 市役所以外の複合施設（市民利用施設等）が併設されていない」が 0.29 ポイントで課題があると考えられています。
- 一方、質問2の「市役所への交通手段」の回答では「自転車」と「自動車」を利用して訪れた市民の割合が多いにも関わらず、「カ. 駐車場、駐輪場などが十分ではない」は-0.14 ポイントであり、現在の駐輪・駐車台数でも不満に思う市民の方は少ない結果となっています。

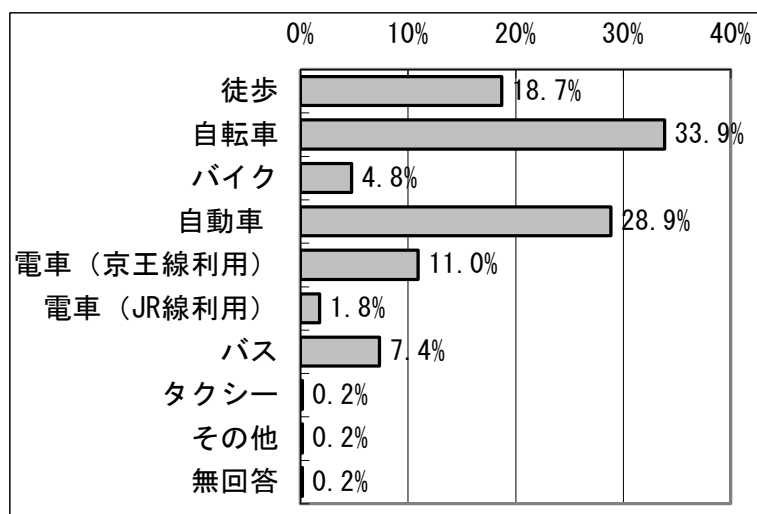


図 市役所への交通手段（再掲）

【クロス集計結果の解析】

○ 性別による回答結果に違いが表れているのは、以下の項目についてです。

質 問	性別による回答結果の違い
ウ. 第2庁舎などが分散していて、利用しにくい	○「そう思う」という回答は、男性(0.10ポイント)よりも女性(0.33ポイント)の方が多く、性別による違いは0.23ポイントで最も性別による回答の違いが表れています。
コ. 市役所以外の複合施設(市民利用施設等)が併設されていない	○「そう思う」という回答は、男性(0.09ポイント)よりも女性(0.29ポイント)の方が0.20ポイント多くなっています。

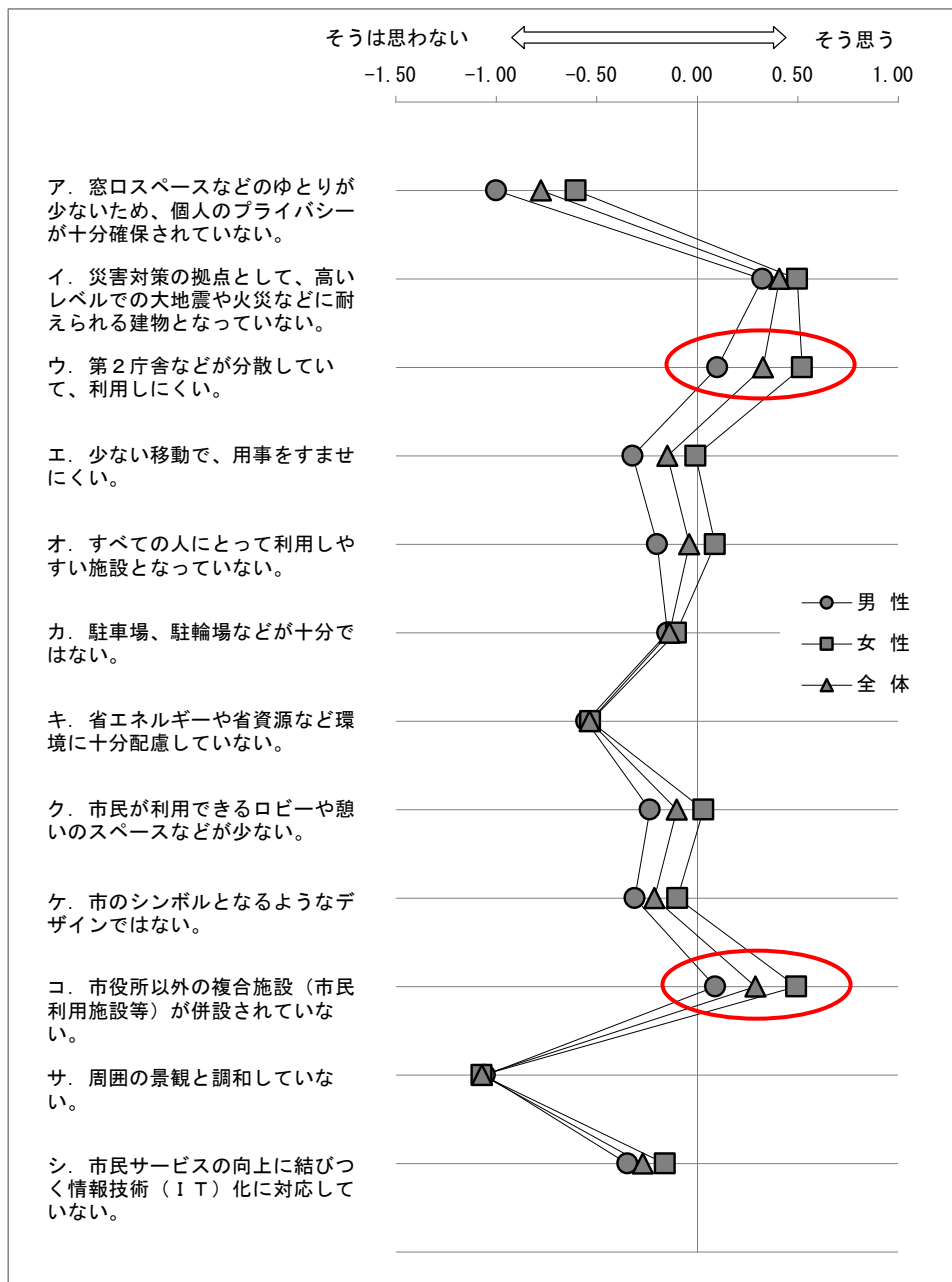


図 現在の市庁舎の課題×性別

- 年齢による回答結果に違いが表れているのは、以下の項目についてです。

質 問	年齢による回答結果の違い
ア. 窓口スペースなどのゆとりが少ないため、個人のプライバシーが十分確保されていない	○他の年齢層に比べ「50 才代」に「そう思う」という回答が多くなっています。
ウ. 第2庁舎などが分散していて、利用しにくい	○他の年齢層に比べ「30 才代」は「そうは思わない」という回答が多くなっています。
オ. すべての人にとって利用しやすい施設となっている	○「そう思う」という回答は、「40 才代」に多く、「そうは思わない」という回答は「60 才代」に多いことが特徴として表れています。
ケ. 市のシンボルとなるようなデザインではない	○他の年齢層に比べ「20 才代」に「そう思う」という回答が多くなっています。
コ. 市役所以外の複合施設（市民利用施設等）が併設されていない	○他の年齢層に比べ「20 才代」に「そう思う」という回答が多くなっています。
シ. 市民サービスの向上に結びつく情報技術（IT）化に対応していない	○「そう思う」という回答は、「20 才代」に多く、「そうは思わない」という回答は「60 才代」に多いことが特徴として表れています。

また、年齢別の傾向としては、「50 才代」は全体的に「そう思う」という回答の割合が多く、「60 才代」は「そうは思わない」という回答の割合が多くなっています。

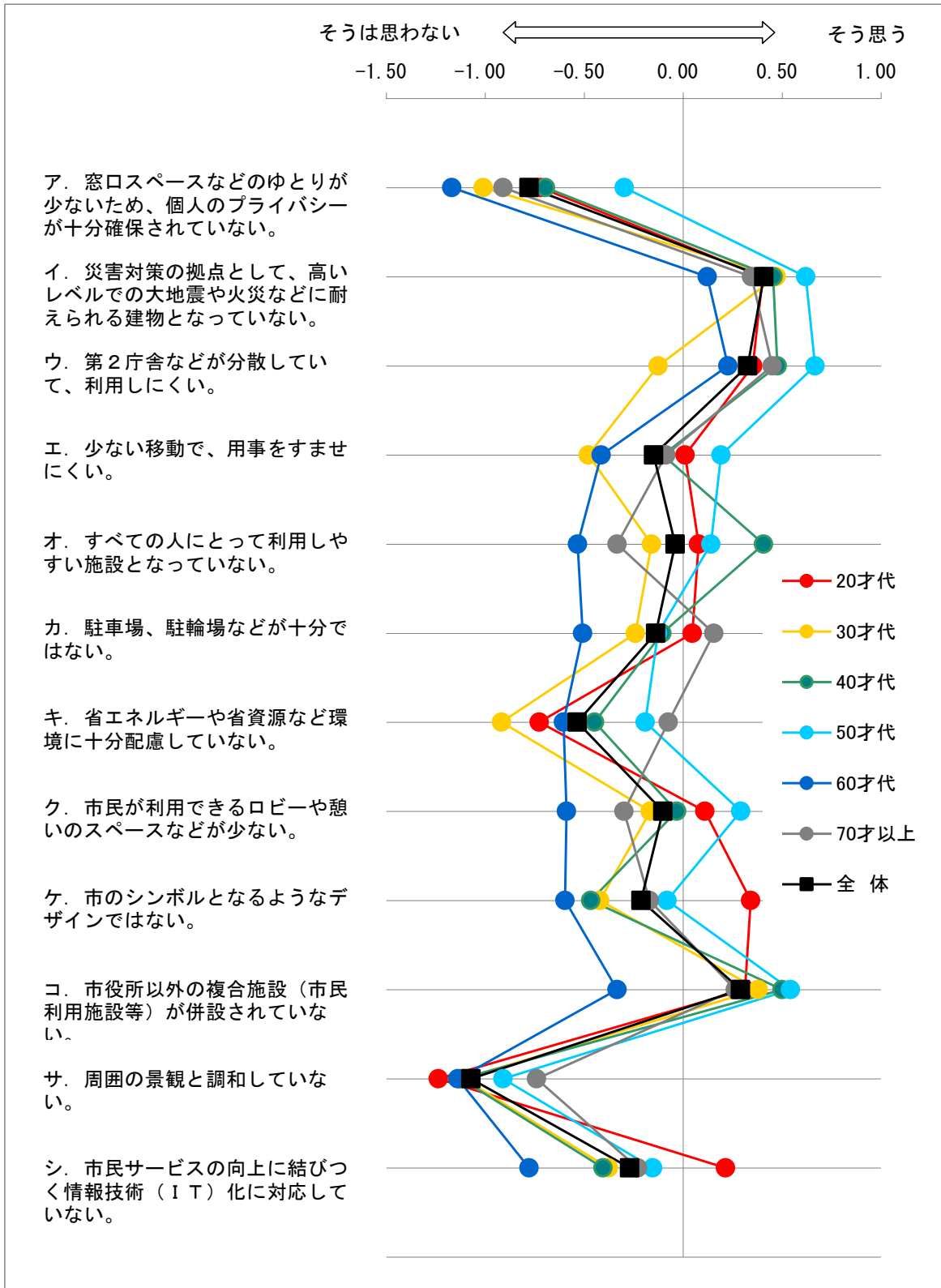
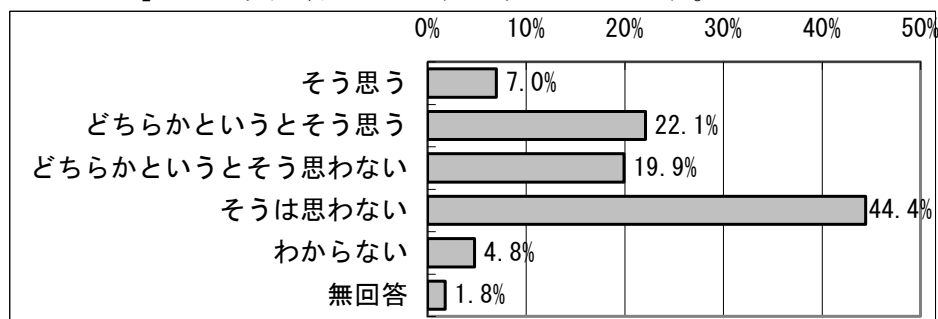


図 現在の市庁舎の課題×年齢別

以下に各項目の回答結果を示します。

ア. 窓口スペースなどのゆとりが少ないため、個人のプライバシーが十分確保されていない。

○「そうは思わない」という回答が44.4%を占めています。



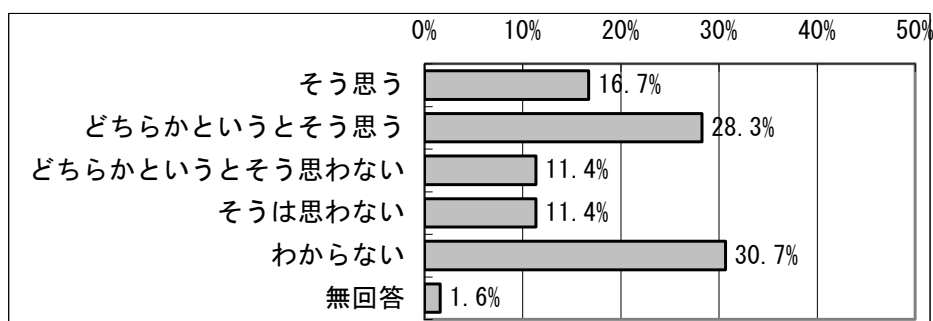
選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	35	7.0%
どちらかというと思う	111	22.1%
どちらかというと思わない	100	19.9%
そうは思わない	223	44.4%
わからない	24	4.8%
無回答	9	1.8%
合 計	502	100.0%

イ. 災害対策の拠点として、高いレベルでの大地震や火災などに耐えられる建物となっていない。

○「わからない」という回答が30.7%で最も多い回答となっています。これは、市民の方々が市役所の建物自体の耐震性等について、情報提供が足りないことによるものと思われます。

○次に多いのは「どちらかというと思う」という回答が28.3%ですが、対面式アンケート調査の最中に市民の方々から建物自体が古いからというお話しが多数でてきました。

○また、「質問5. 理想に思う市庁舎像」の回答では「耐震性に優れ、耐用年数が長い堅牢な庁舎」が35.9%で2番目に多い回答となっています。

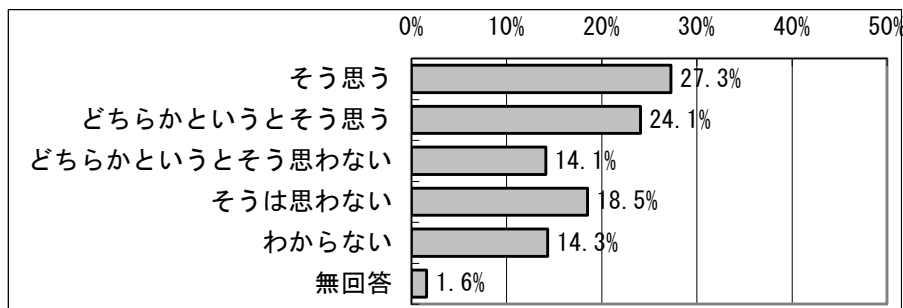


選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	84	16.7%
どちらかというと思う	142	28.3%
どちらかというと思わない	57	11.4%
そうは思わない	57	11.4%
わからない	154	30.7%
無回答	8	1.6%
合 計	502	100.0%



ウ. 第2庁舎などが分散していて、利用しにくい。

○「そう思う」という回答が27.3%で最も多く、「どちらかというと思う」という回答と合わせると約半数（51.4%）の方々が「分散していて利用しにくい」と思っているようです。

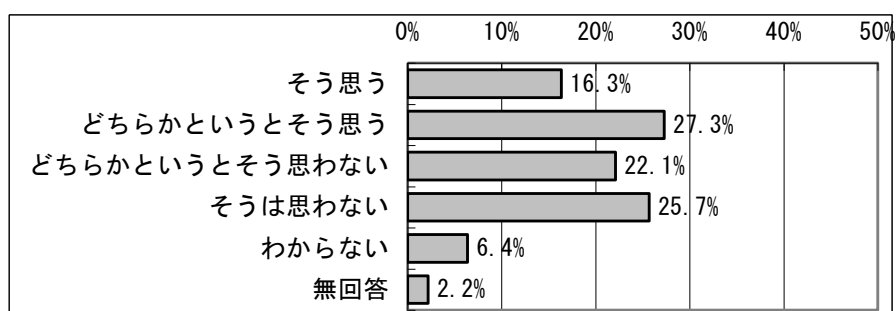


選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	137	27.3%
どちらかというと思う	121	24.1%
どちらかというと思わない	71	14.1%
そうは思わない	93	18.5%
わからない	72	14.3%
無回答	8	1.6%
合 計	502	100.0%

エ. 少ない移動で、用事をすませにくい。

○「どちらかというと思う」という回答が27.3%で最も多い反面、「そうは思わない」という回答も25.7%あり、意見が分かれた結果となっています。

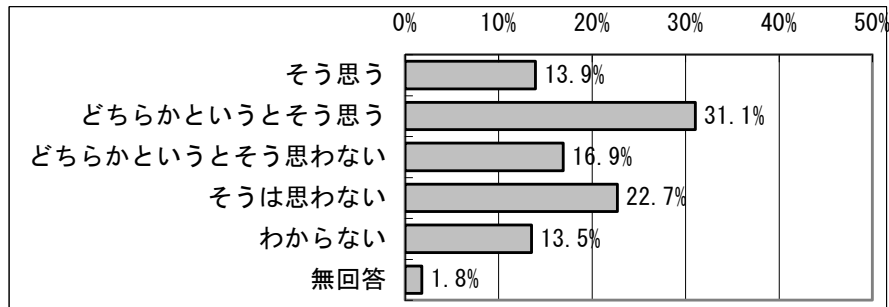
○ 複数の部課に用事があり移動が必要になる方と、総合窓口で用事が済んでしまう方等によって回答結果に違いが表れているものと考察できます。



選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	82	16.3%
どちらかというと思う	137	27.3%
どちらかというと思わない	111	22.1%
そうは思わない	129	25.7%
わからない	32	6.4%
無回答	11	2.2%
合 計	502	100.0%

オ. すべての人にとって利用しやすい施設となっていない。

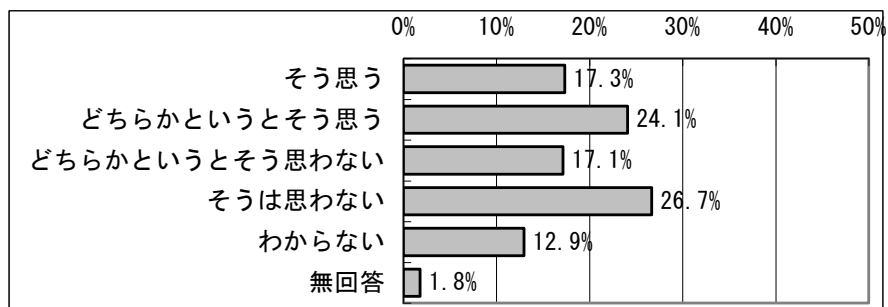
- 「どちらかというと思う」という回答が31.1%で最も多い反面、「そうは思わない」という回答も22.7%あり、意見が分かれた結果となっています。
- 前記「エ」の回答結果と同様に、複数の部課に用事があり移動が必要になる方と、総合窓口で用事が済んでしまう方等によって回答結果に違いが表れているものと考えられます。



選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	70	13.9%
どちらかというと思う	156	31.1%
どちらかというと思わない	85	16.9%
そうは思わない	114	22.7%
わからない	68	13.5%
無回答	9	1.8%
合 計	502	100.0%

カ. 駐車場、駐輪場などが十分ではない。

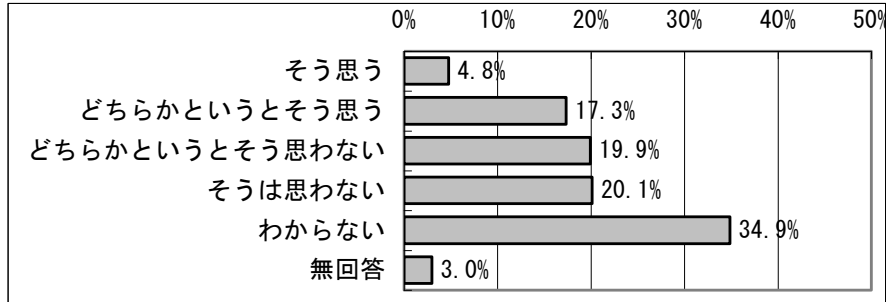
- 「そうは思わない」という回答が26.7%で最も多い反面、「どちらかというと思う」という回答も24.1%となっています。
- 質問2の「市役所への交通手段」の回答では「自転車」と「自動車」を利用して訪れた市民の割合が多いにもかかわらず、「そうは思わない」という回答が最も多いことから、現在の駐輪・駐車台数でも十分に対応できているものと考えられます。



選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	87	17.3%
どちらかというと思う	121	24.1%
どちらかというと思わない	86	17.1%
そうは思わない	134	26.7%
わからない	65	12.9%
無回答	9	1.8%
合 計	502	100.0%

キ. 省エネルギーや省資源など環境に十分配慮していない。

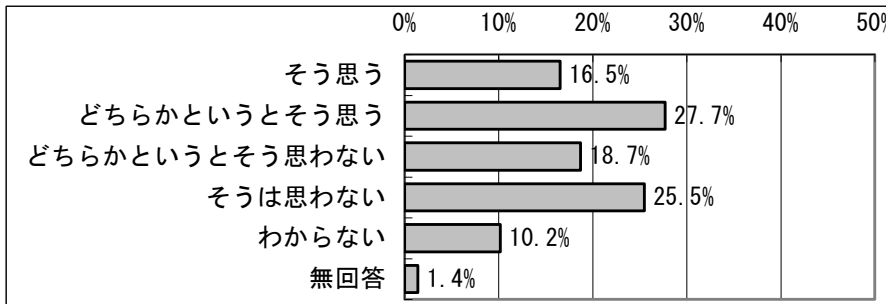
○「わからない」という回答が 34.9%で最も多くなっています。これは市民から見ると、市役所の省エネルギーや省資源などの環境対策がどの程度行われているのか、また、それらの取組について比較評価する基準がないため、「わからない」という回答が多くなったと考えられます。



選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	24	4.8%
どちらかというと思う	87	17.3%
どちらかというと思わない	100	19.9%
そうは思わない	101	20.1%
わからない	175	34.9%
無回答	15	3.0%
合 計	502	100.0%

ク. 市民が利用できるロビーや憩いのスペースなどが少ない。

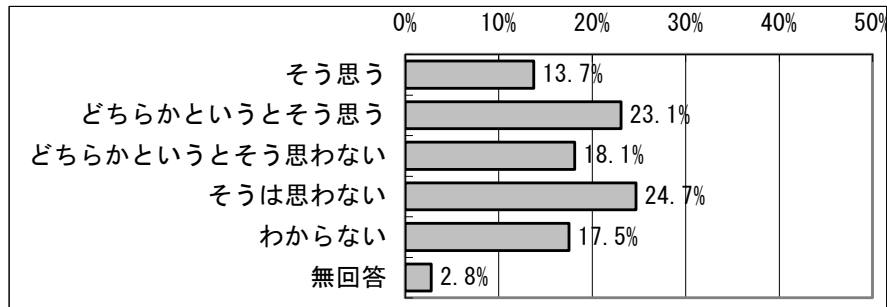
○「どちらかというと思う」という回答が 27.7%で最も多い反面、「そうは思わない」という回答も 25.5%あり、意見が分かれた結果となっています。



選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	83	16.5%
どちらかというと思う	139	27.7%
どちらかというと思わない	94	18.7%
そうは思わない	128	25.5%
わからない	51	10.2%
無回答	7	1.4%
合 計	502	100.0%

ケ. 市のシンボルとなるようなデザインではない。

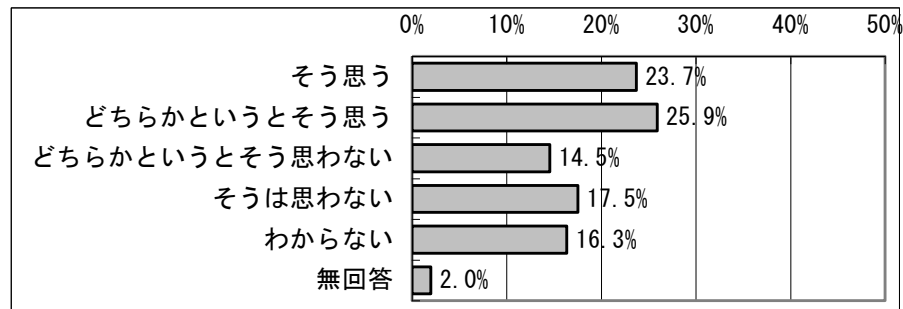
○「そうは思わない」という回答が24.7%で最も多い反面、「どちらかというと思う」という回答も23.1%あり、意見が分かれた結果となっています。



選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	69	13.7%
どちらかというと思う	116	23.1%
どちらかというと思わない	91	18.1%
そうは思わない	124	24.7%
わからない	88	17.5%
無回答	14	2.8%
合 計	502	100.0%

コ. 市役所以外の複合施設（市民利用施設等）が併設されていない。

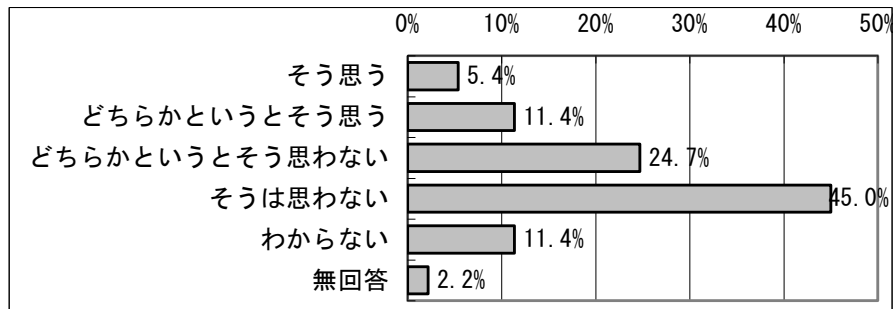
○「どちらかというと思う」（25.9%）と「そう思う」（23.7%）という回答を合わせると約半数（49.6%）の方々が、市役所以外の複合施設（市民利用施設等）が併設されていないことを課題の一つとしてとらえているようです。



選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	119	23.7%
どちらかというと思う	130	25.9%
どちらかというと思わない	73	14.5%
そうは思わない	88	17.5%
わからない	82	16.3%
無回答	10	2.0%
合 計	502	100.0%

サ. 周囲の景観と調和していない。

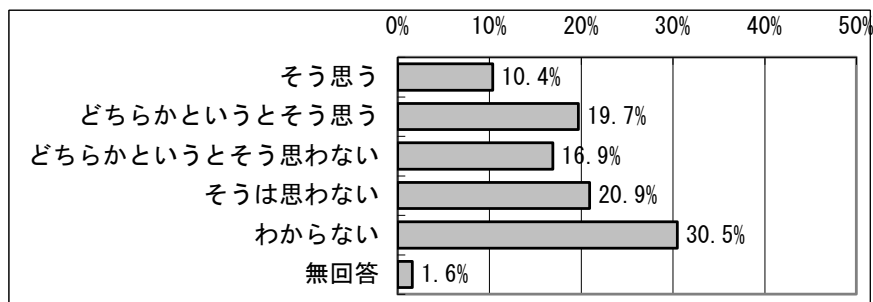
- 「そうは思わない」という回答が45.0%であるのに対し、「そう思う」という回答はわずか5.4%となっています。
- 「そうは思わない」という回答割合は、ア～シの12設問に対する回答の中でも最も多い割合であり、市民の方々は現在の市役所の建物について周囲の景観と調和していないとは思っていないようです。



選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	27	5.4%
どちらかというと思う	57	11.4%
どちらかというと思わない	124	24.7%
そうは思わない	226	45.0%
わからない	57	11.4%
無回答	11	2.2%
合 計	502	100.0%

シ. 市民サービスの向上に結びつく情報技術（IT）化に対応していない。

- 「わからない」という回答が30.5%で最も多くなっています。これは市民から見ると、市役所のIT化がどの程度行われているのか、また、それらの取組について比較評価する基準がないため、「わからない」という回答が多くなったと考えられます。

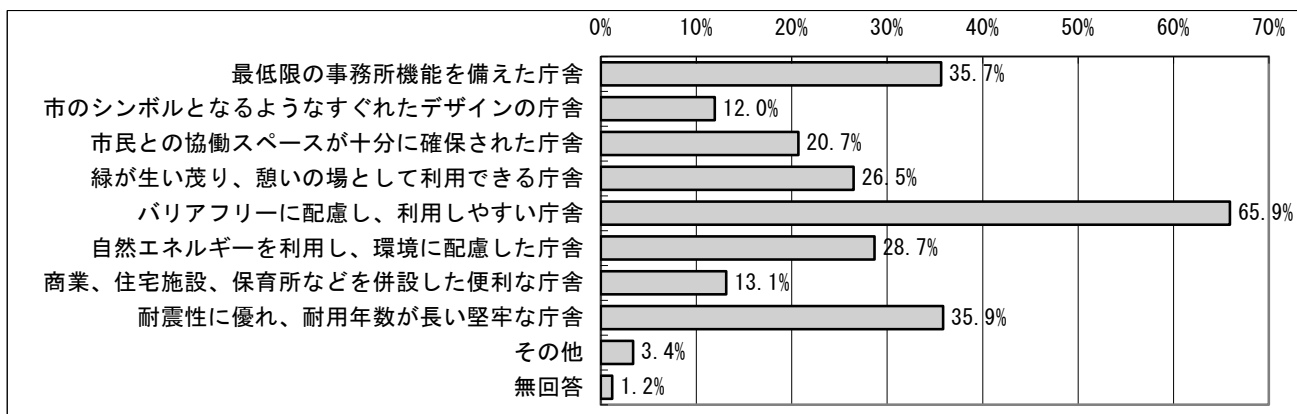


選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	52	10.4%
どちらかというと思う	99	19.7%
どちらかというと思わない	85	16.9%
そうは思わない	105	20.9%
わからない	153	30.5%
無回答	8	1.6%
合 計	502	100.0%

質問5：あなたはどのような庁舎が理想だと思いますか。（3つまで）

【全体集計結果の解析】

理想に思う市役所庁舎については、「バリアフリーに配慮し、高齢者、障害者、子どもも利用しやすい庁舎」が65.9%で最も多く、次いで「耐震性に優れ、耐用年数が高い堅牢な庁舎」（35.9%）、「最低限の事務諸機能を備えた庁舎」（35.7%）が上位3回答となっています。



選 択 肢	回答数	構成比
最低限の事務所機能を備えた庁舎	179	35.7%
市のシンボルとなるようなすぐれたデザインの庁舎	60	12.0%
市民との協働スペースが十分に確保された庁舎	104	20.7%
緑が生い茂り、憩いの場として利用できる庁舎	133	26.5%
バリアフリーに配慮し、高齢者、障害者、子どもも利用しやすい庁舎	331	65.9%
太陽光などの自然エネルギーを利用し、環境に配慮した庁舎	144	28.7%
商業施設や住宅施設、保育所などを併設した便利な庁舎	66	13.1%
耐震性に優れ、耐用年数が高い堅牢な庁舎	180	35.9%
その他	17	3.4%
無回答	6	1.2%
合 計	1220	243.0%

図 理想に思う庁舎像

【クロス集計結果の解析】

- 理想に思う市役所庁舎像を性別に見ると、「男性」は「最低限の事務諸機能を備えた庁舎」が女性の回答よりも多く、「女性」は「バリアフリーに配慮し、高齢者、障害者、子どもも利用しやすい庁舎」と「耐震性に優れ、耐用年数が高い堅牢な庁舎」が男性の回答よりも多いことが特徴となっています。

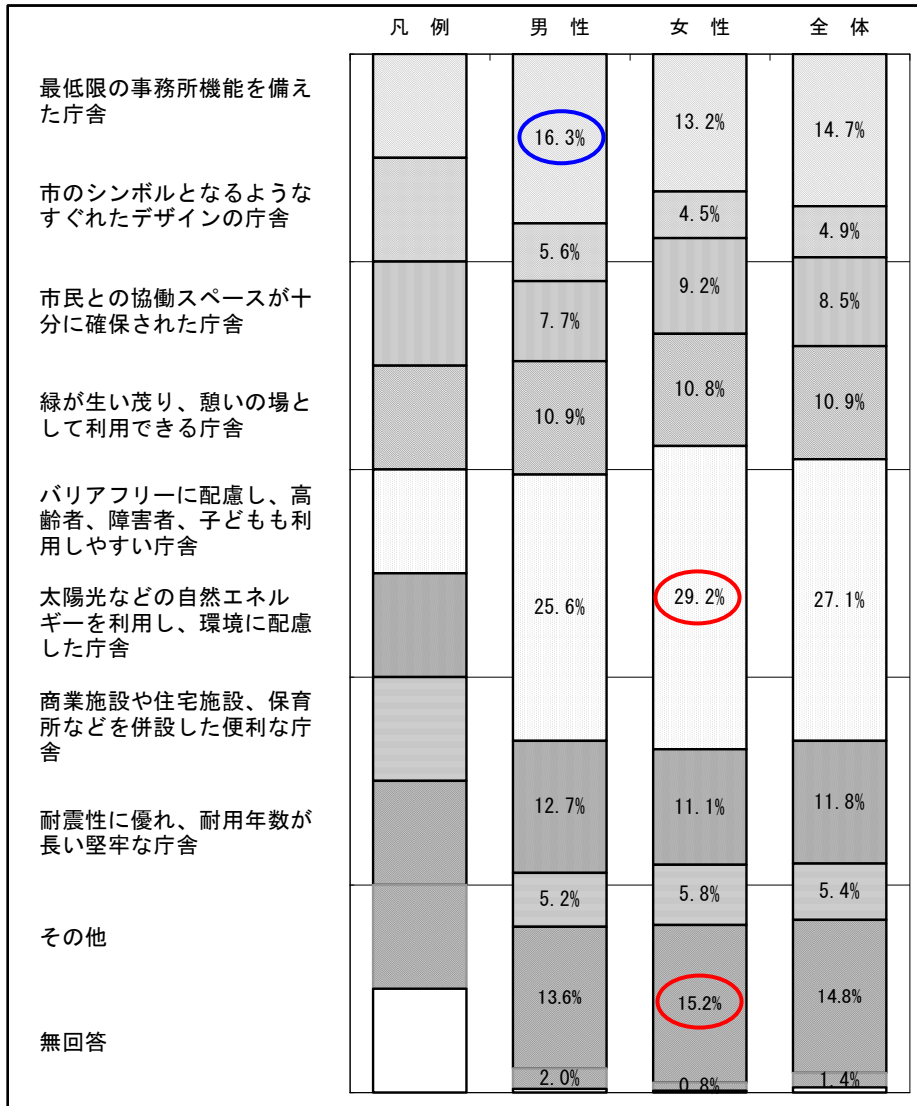


図 理想に思う庁舎像×性別

- 年齢別では「20才代」と「30才代」の方々は他の年齢層の方に比べ「商業施設や住宅施設、保育所などを併設した便利な庁舎」という回答割合が多くなっています。また、「20才代」では「緑が生い茂り、憩いの場として利用できる庁舎」という回答割合が多く、「30才代」では「太陽光などの自然エネルギーを利用し、環境に配慮した庁舎」という回答割合が少ないことも特徴としてあげられます。
- 「40才代」と「60才代」の方々は他の年齢層の方に比べ「最低限の事務所機能を備えた庁舎」という回答割合が多い反面、「市のシンボルとなるようなすぐれたデザインの庁舎」という回答割合が少ないことが特徴となって表れています。
- 「50才代」の方々、他の年齢層の方に比べ「市民との協働スペースが十分に確保された庁舎」がという回答割合が多いことが特徴に表れています。

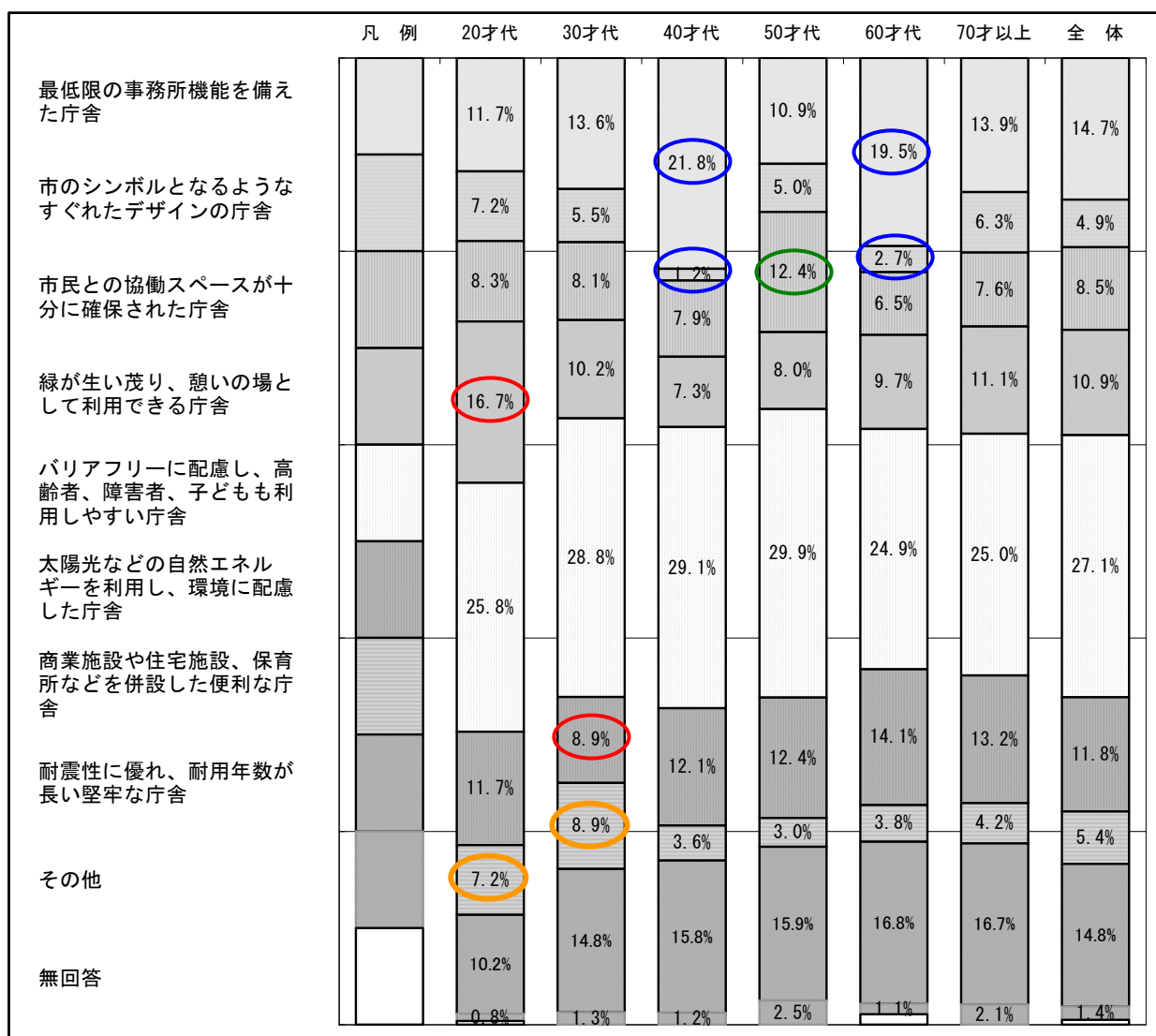


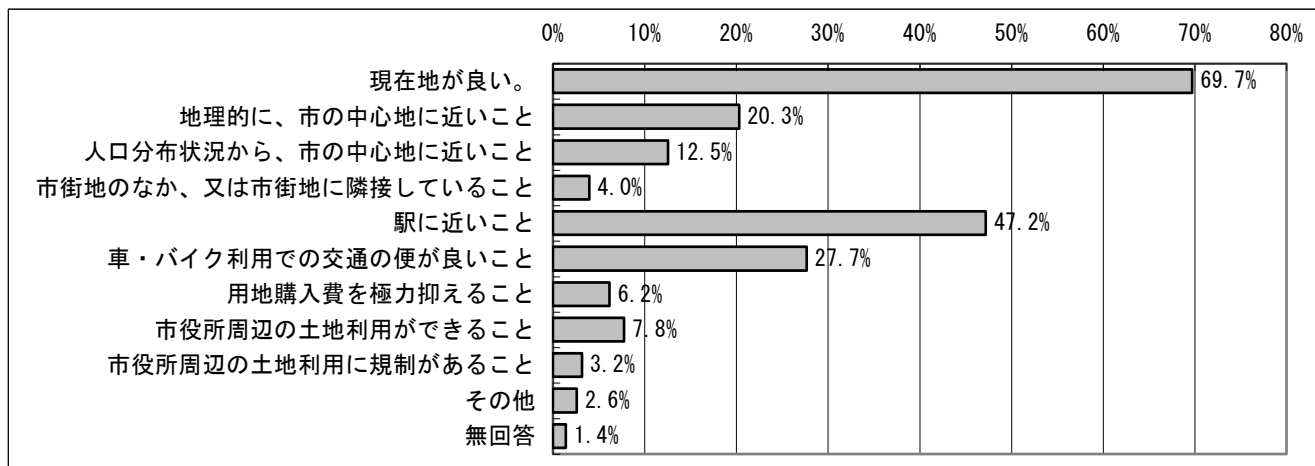
図 理想に思う庁舎像×年齢別



質問6：新たな本庁舎を建設する場合、建設場所について、あなたが重要視することとは何ですか。次の中からあてはまるものを選んでください。（3つまで）

【全体集計結果の解析】

市役所本庁舎を建設する場合の建設場所について重要視することでは、「現在地が良い」が69.7%で最も多く、次いで「駅に近いこと」（47.2%）、「車・バイク利用での交通の便が良いこと」（27.7%）が上位3回答となっています。



選 択 肢	回答数	構成比
現在地が良い。	350	69.7%
地理的に、市の中心地に近いこと	102	20.3%
人口分布状況から、市の中心地に近いこと	63	12.5%
市街地のなか、又は市街地に隣接していること	20	4.0%
駅に近いこと	237	47.2%
車・バイク利用での交通の便が良いこと	139	27.7%
用地購入費を極力抑えること（郊外にあること）	31	6.2%
市役所周辺の土地利用ができること（周辺を新たに開発していくこと）	39	7.8%
市役所周辺の土地利用に規制があること（周辺を開発しないこと）	16	3.2%
その他	13	2.6%
無回答	7	1.4%
合 計	1017	202.6%

図 本庁舎を建設する場合の建設場所で重要視すること

【クロス集計結果の解析】

- 本庁舎を建設する場合の建設場所について重要視することを回答者の性別に見ると、男女ともに「現在地が良い」という回答が最も多くなっていますが、やや「女性」の方がその回答が多くなっています。
- また、「女性」は「男性」よりも「駅に近いこと」の回答割合が多く、「男性」は「女性」よりも「車・バイク利用での交通の便が良いこと」の回答割合が多くなっています。

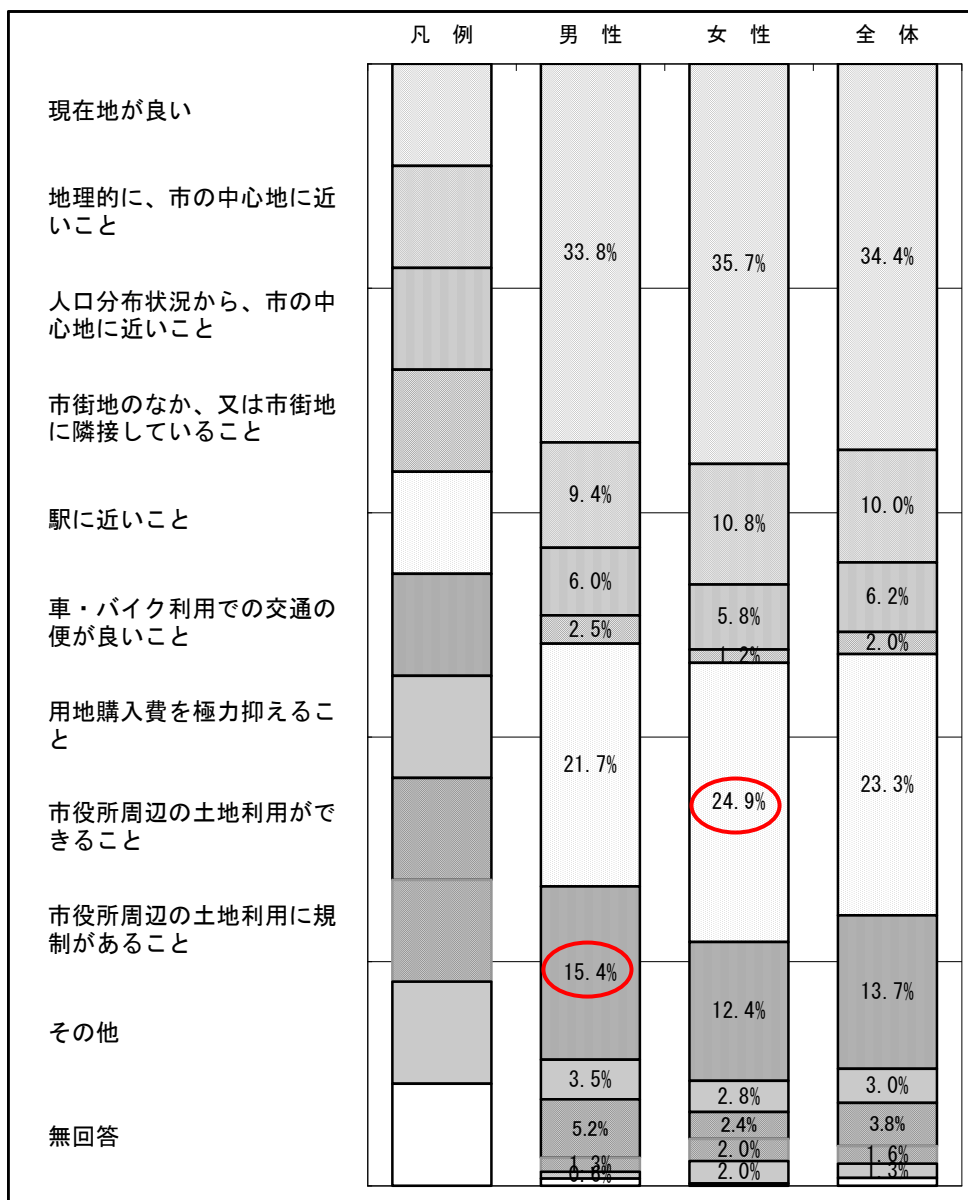


図 本庁舎を建設する場合の建設場所で重要視すること×性別

- 本庁舎を建設する場合の建設場所について重要視することを回答者の年齢別に見ると、年齢層が若いほど「駅に近いこと」という回答割合が多くなっています。
- 一方、「車・バイク利用での交通の便が良いこと」という回答は、「20才代」、「30才代」と「60才代」に多く、「70才以上」では少ないことが特徴として表れています。

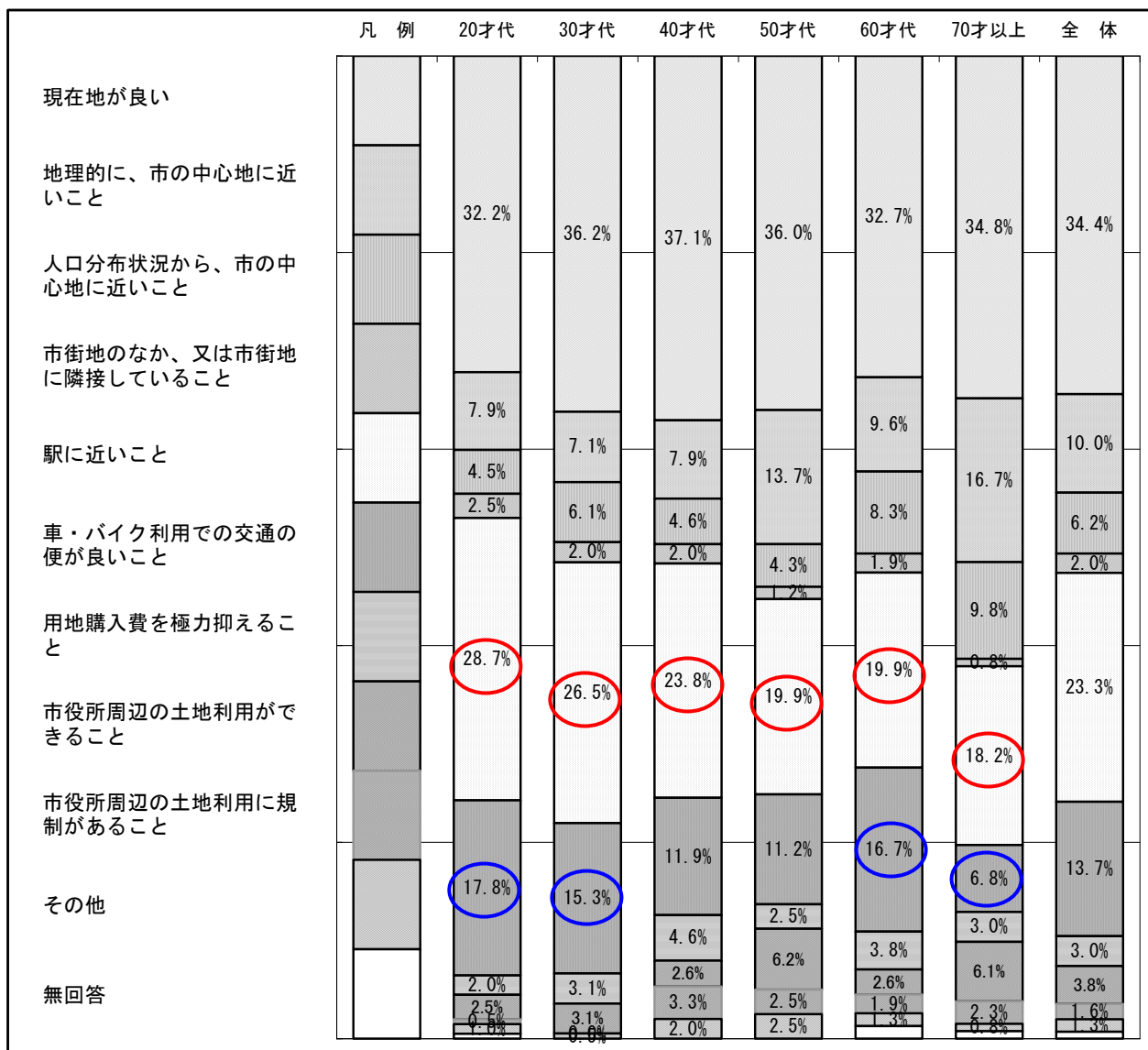
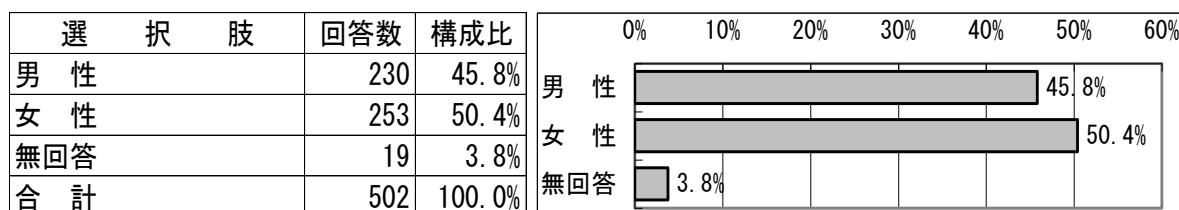


図 本庁舎を建設する場合の建設場所で重要視すること×年齢別

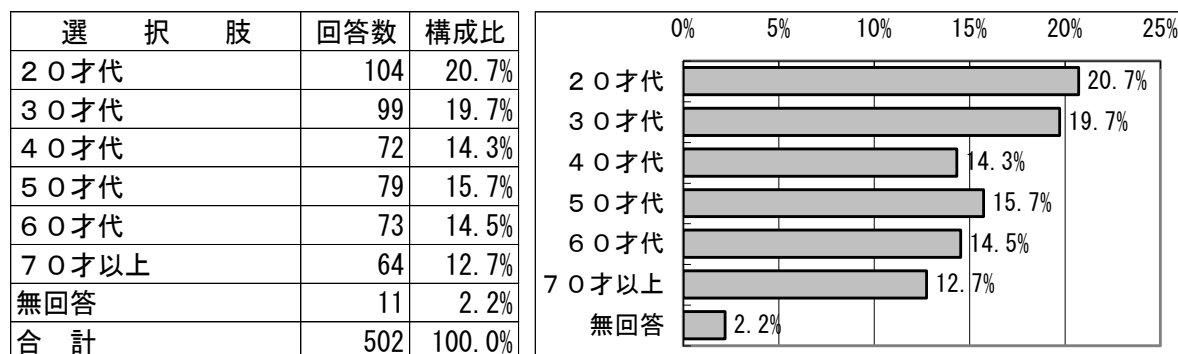
質問7：あなたのことについてお伺いします。項目ごとに1つ選んでください。

- 回答者の性別は、「女性」が50.4%、「男性」が45.8%で、やや女性の回答者が多くなっています。
- 年齢は、「20才代」が20.7%で最も多く、次いで「30才代」の19.7%であり、「70才以上」が12.7%で最も少なくなっています。
- 居住地域は、無回答が20.9%あり、筆記回答していただいた居住地域では、「白糸台」が5.6%で最も多く、次いで「美好町」と「四谷」が4.6%、「是政」3.4%、「押立」と「本町」の3.2%の順で続きます。
- 職業は、「会社員」が33.1%で最も多く、次いで「主婦」が27.9%、「無職」15.5%、「自営業」8.0%、「学生」3.4%の割合です。
- 居住年数は、「20年以上」が39.8%で最も多く、次いで「5年未満」23.9%、「5～10年」18.1%、「11～20年」14.7%の割合となっています。

【性別】

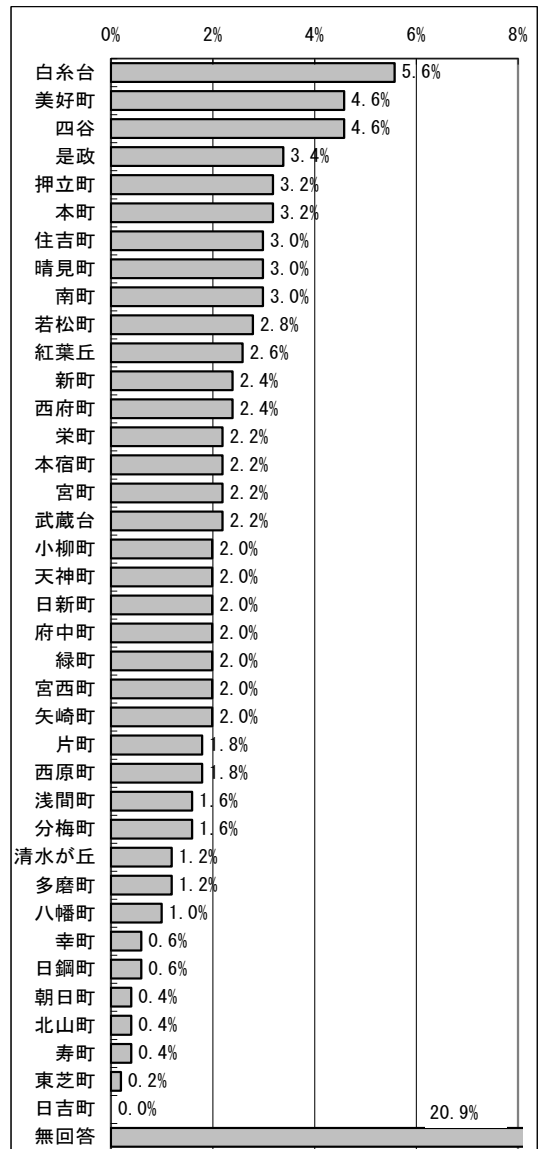


【年齢】



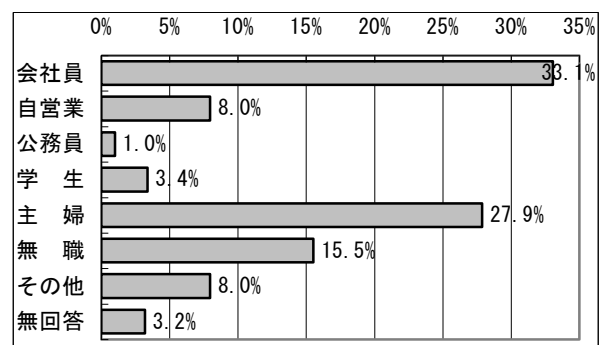
【居住地】

選 択 肢	回答数	構成比
白糸台	28	5.6%
美好町	23	4.6%
四谷	23	4.6%
是政	17	3.4%
押立町	16	3.2%
本町	16	3.2%
住吉町	15	3.0%
晴見町	15	3.0%
南町	15	3.0%
若松町	14	2.8%
紅葉丘	13	2.6%
新町	12	2.4%
西府町	12	2.4%
栄町	11	2.2%
本宿町	11	2.2%
宮町	11	2.2%
武蔵台	11	2.2%
小柳町	10	2.0%
天神町	10	2.0%
日新町	10	2.0%
府中町	10	2.0%
緑町	10	2.0%
宮西町	10	2.0%
矢崎町	10	2.0%
片町	9	1.8%
西原町	9	1.8%
浅間町	8	1.6%
分梅町	8	1.6%
清水が丘	6	1.2%
多磨町	6	1.2%
八幡町	5	1.0%
幸町	3	0.6%
日鋼町	3	0.6%
朝日町	2	0.4%
北山町	2	0.4%
寿町	2	0.4%
東芝町	1	0.2%
日吉町	0	0.0%
無回答	105	20.9%
合 計	502	100.0%



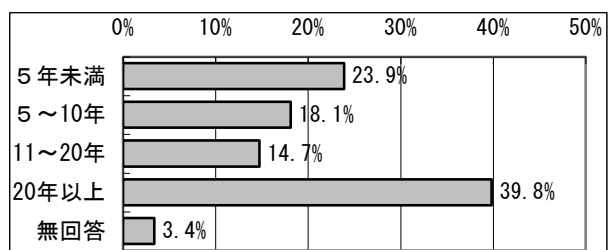
【職業（重複する場合は主な職業を選んでください）】

選 択 肢	回答数	構成比
会社員	166	33.1%
自営業	40	8.0%
公務員	5	1.0%
学 生	17	3.4%
主 婦	140	27.9%
無 職	78	15.5%
その他	40	8.0%
無回答	16	3.2%
合 計	502	100.0%



【府中市での居住年数（合併以前を含む）】

選 択 肢	回答数	構成比
5年未満	120	23.9%
5～10年	91	18.1%
11～20年	74	14.7%
20年以上	200	39.8%
無回答	17	3.4%
合 計	502	100.0%



質問8：新庁舎建設に関し、ご意見・ご提案がありましたらご記入ください。

アンケート標本数502票のうち、自由回答欄には116票（23.1%）の記入がありました。

筆記回答のあった内容のうち、新庁舎建設に関する意見・提案内容を個別に分類し、同様の意見・提案を整理した結果を以下に示します。

- 市税、予算を有効に使ってほしい (同様18件)
- シンプルな庁舎にしてほしい (同様16件)
- 利用しやすくしてほしい (同様15件)
- 新庁舎は必要ない (同様12件)
- 耐震性を確保してほしい (同様8件)
- 生活弱者に配慮してほしい (同様7件)
- 分かりやすくしてほしい (同様7件)
- 庁舎は現在の場所にしてほしい (同様6件)
- 市民とのコンセンサスを大事にしてほしい (同様6件)
- 駐車場を整備してほしい (同様6件)
- 明るい雰囲気のある庁舎にしてほしい (同様5件)
- 3庁舎（東西北）を統合してほしい (同様3件)
- 余裕のある空間にしてほしい (同様3件)
- IT化を推進してほしい (同様2件)
- 機能性を重視してほしい (同様2件)
- 子供の待機所を確保してほしい (同様2件)
- 市民利用施設を併設してほしい (同様2件)
- 市民の憩いの場がほしい (同様2件)
- 職員のための庁舎にしないでほしい (同様2件)
- 食堂を充実してほしい (同様2件)
- トイレを快適にしてほしい (同様2件)
- 環境に優しい庁舎にしてほしい
- 高層化しないでほしい
- 高層ビルにしてほしい
- 災害・有事の際の核になるように
- 職員の利便性を大事にしてほしい
- シンボルとなる庁舎にしてほしい
- 賃貸でいいと思う
- ペットが待つ場所の確保
- 緑のある庁舎にしてほしい
- 老朽化している